

SHIEN 支縁

No. 1

2012 11/3



<http://www.kisokobe.com>

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】岩村 義雄

【事務局】〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101

Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939

E-mail:kiso@mbc.nifty.com 年4回 2月、5月、8月、11月

購読料 一部320円+送料80円(年額1,600円)

「支縁」について

神戸国際支縁機構 理事
京都大学名誉教授 水垣 渉

「しえん」という言葉は、聞いたときは分からませんでしたが、「支縁」という字面から真っ先に連想したのは「縁の下」という言葉でした。「縁の下の力持ち」の「縁の下」です。表にあらわれないところで人のために力を尽くすこと、

創刊にいたる活動

神戸国際支縁機構 代表 岩村 義雄

9・11テロから、痛めつけられた輩のような人々と共に生きていくために前身神戸国際支援機構が立ち上がりました。難民支援として、中東諸国、とりわけアフガニスタン、イラン、イラクの人たちとの連帯を模索しました。釜ヶ崎の労働者にボランティアのささやかな働きを継けました。「後ろ姿」でにつこりと、地道な活動を心がけてきました。

東日本大震災が発生すると、三日後には、マスコミ、地域、諸団体の協力を得て、支援物資を集めました。トラックに満載にして、

災害緊急車両の許可を得て、宮城県に向かいました。仙台でボランティア団体などから情報を収集し、最大の被災面積の石巻市に向かいました。神戸からの若者たちはメディアが報道する光景を目の前にして絶句しました。この世のものとは思えなかつたからです。テレビ、新聞などではわからぬ強烈な死臭、ヘドロが目



などの粘膜につき、道路らしきものがなくなつた市街地、被災した建物、財産、仕事、家族を失つて、へなへなど立ち上がりなくなつた人々の目を見ました。被災した人々の眼光には死相が

ただよっていました。
佐藤金一郎氏(七十歳)と出会いました。道路のがれき処理をまず、依頼されました。二日間にわたり、約十cm二十cm、一m、五十mと、車両が入るよう、汗を流しました。冠水で浸かる中、ライフライン回復のために、黙々と作業をしました。助かった人々は、避難所にいます。

四トン車のインスタントラーメン、米、炭、石油、ストーブ、おしめ、食料などを保管するため、ある家全体に置いていただきました。三か月にわたつて地元の方々に喜ばれました。渡波全区長末永秀雄氏から五月には感謝の意をいただきました。渡波の住民との交流が始まりました。

団体の名称を神戸国際支縁機構と変えました。一九九五年に阪神淡路大震災を体験した神戸と石巻が出会い、親交をもちました。途切れた社会の縁を何とか結び直さねばなりません。縁を支える別の糸が要るかも知れません。いろんな糸をよりあわせれば強くしなやかな縁になります。

七月、牡鹿半島のヒアリング調査のため、各学校を訪問。阿部捷一氏がかつて校長であった

という意味の成句です。昔の日本家屋は、縁の下をのぞき込むと、家をしっかりと支えている太い柱が見えました。こういう柱の一本になつて、人々の結び付きを下からいつまでもじつと支えていこうというのが、神戸国際支縁機構の名前の意味でしょう。たいそうな堅い名称という第一印象とは違つて、本当は素足で土を踏むような泥臭い名前です。私はこの名前が好きです。

させていたただこうとしました。道中、冗談ばつかり言つていた青年たちも唇もこわばり、口数が少なくなつてきました。

佐藤金一郎氏(七十歳)と出会いました。道路のがれき処理をまず、依頼されました。二日間にわたり、約十cm二十cm、一m、五十mと、車両が入るよう、汗を流しました。冠水で浸かる中、ライフライン回復のために、黙々と作業をしました。助かった人々は、避難所にいます。

四トン車のインスタントラーメン、米、炭、石油、ストーブ、おしめ、食料などを保管するため、ある家全体に置いていただきました。三か月にわたつて地元の方々に喜ばれました。渡波全区長末永秀雄氏から五月には感謝の意をいただきました。渡波の住民との交流が始まりました。

団体の名称を神戸国際支縁機構と変えました。一九九五年に阪神淡路大震災を体験した神戸と石巻が出会い、親交をもちました。途切れた社会の縁を何とか結び直さねばなりません。縁を支える別の糸が要るかも知れません。いろんな糸をよりあわせれば強くしなやかな縁になります。

七月、牡鹿半島のヒアリング調査のため、各学校を訪問。阿部捷一氏がかつて校長であった

ました。小牛田農林高等學校の指導で、コウノトリの「田んぼアート」を沢田地区でさせていただきました。岩手県の佐藤正弘氏が寛大に十一種類の古代米を提供してくださいました。岩手県の佐藤正弘氏が寛大に十一種類の古代米を提供してくださいました。

で贈呈式を行ないました。渡波、塙富町で冠水を心配しないようになりました。

夏の終わりに、稻井土地改良区の主だった方たちと会合をもちました。九月に石巻市渡波地域農業復興組合ができ、阿部勝氏が代表となり、機構に田んぼの復旧、復興、再建の依頼が農家からありました。最初から参加している山本智也君、村上裕隆君が中心となつて、N.P.O.田んぼや、兵庫県立農業高等学校の協力を得て、石巻市で除草、用水、排水ボランティア、苗床作り、田植えと作付けをしました。

地域は、がれきすら
残つていな
い村が続
きます。

八月八
日、石巻市
役所で亀
山紘市長、
株日揮、J
GCとの間

佐藤氏は「六次産業」の言葉の産みの親でもあります。一次(生産)±二次(加工)±三次(販売)＝六次により農の未来を切り開く先駆者です。

養殖のノリ、牡蠣の復興のボランティアのため、船で収穫に、網の修理、牡蠣養殖のホタテ殻の作業などを手伝ったりします。養蚕などを手伝いながらよいよ稲刈りとなります。

六月以降、町興しのために、在宅被災者の戸別訪問を始めました。一度も、行政やボランティアが訪問したことのない地域があります。

ましてや機械を使わずに手作業でほとんど行なってきました。だからとても気が遠くなる作業です。現代社会で親しんできたゲームやアルバイトなどではパーフェクトに向けて頑張ります。しかし、農の場合はこれで完璧とか、マニュアルなど存在しません。自らの努力が結果を出すこともあれば、天候によつても左右されます。そのため普段僕たちが生活している世界とは違う世界です。直接、土や植物に手で触れて、人間の無力さを感じました。

Let's 農(know) 林漁 『田んぼとの出会い』

事務局員 山本 智也

二〇一一年九月、大学三年生の時から、農ボランティアを約一年させていた

四名の内、初参加は五名だ
戸が「縁」から「結」へと織
を感じます。

ピューターなどにも学ぶことはたくさんあります。しかし、先人が築いてきた良い世界を忘れず。だから次の世代にも創造的で、コンピューターの世界に偏りすぎではないかボランティアは教えてくれました。

僕はこれから一世紀も生きられません。百回も田植えや稲刈りができるのです。せいぜい五十回くらいです。だから次の世代にも創造的で、コンピューターの世界に偏りすぎではないかボランティアは教えてくれました。

つまり、損得の考えや効率が僕たちの頭を支配します。無駄なことは意味がないと切り捨てます。しかし、土を耕し、作付けなど、無から有を生み出す創造的な働きはすべて自分の責任です。また、責任転嫁をせず、他の人々の立場になつて考えることができます。つまり心を育てる環境が創造的な考えには生まれます。

学校ではなかなか創造的な考えは養えません。田んぼからは学べることが多いです。現代ではコンピューターやテレビなど誰かが創造したもののは漁は便利だと感心していました。コン

企業や、ヴァーチャルな世界と比べて、第一次産業の農林漁の世界は大きく違います。相違は創造的か受動的かどうかです。会社などの組織では、教育実習を受け、社是に従い、給料に見合う仕事をするといった受動的な考えです。うまくいかないと誰かのせいにしてしまいます。

ましてや機械を使わずに手作業でほとんど行なつてきました。だからとも気が遠くなる作業です。現代社会で親しんできたゲームやアルバイトなどでは、バーフエクトに向けて頑張ります。しかし、農の場合はこれで完璧とか、ヨーヨーアルなど存在しません。自らの努力が結果を出すこともあれば、天候によっても左右されますが、そのため普段僕たちが生活している世界とは違う世界です。直接、土や植物に手で触れたり、人間の無力さを感じます。

株式会社 チュチュアンナ
代表取締役社長

上田 利昭

tutu, anna™

MiYOSHi

ミヨシ石鹼株式会社
〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

www.takenaka.co.jp

新生田川共生会

(ホームレス自立支援の会)

東日本大震災以降、 神戸国際支縁機構に協力

的な考えが繋がるよう田んぼをしていきたいと思いました。

今回の東日本大震災が、神戸から共に行く若者たちを次々と覚醒させました。神戸国際支縁機構のひとりとして加わったことを喜んでいます。瑞穂の国の多くの賢人の方々や、先祖のように少しでも若い世代の人々に伝わるように務めています。



「人と人から聞いて渡波小学校まで避難に向かうが、すでに津波が一階を抜けていた。学校も水がぶち抜いて行ったから、『入ってくんないどこさか逃げろ』って呼ばれた。」

そこで小学校の近くの家の二階へ避難した。「知らない家さ逃げた時は、子どもたちが車の上さ乗つたまま『助けてくれ』って流されていくのも見た。でも私も降りて行かれないとだもん。」

近所でも多くの方が被害に遭つたという。「伊勢町地区で三十七人亡くなつたって新聞で見た。

この近所でも、この向こうの家のお孫さん、後ろの家もその隣のうちも一家みんなで亡くなつた。そこはおじいさんとおばあさん、娘さんでトラックに乗つてのを見たのが最後。足が悪いおばあさんでしたから。車ごと津波を持ってかれて、向こうの家の後ろで三人とも遺体で見つかった。息子さんも村の消防団の活動によつて国道で亡くなつた。」

その後、水が引くのを待ち小学校へ避難した。「(学校には)三日しかいなかつたけれど、一つの教室に八十人くらい入れられた。座るところがないくらいでした。食事の割り当ての時に『教室と廊下で八十人分だから、一枚のパンを四人で分けるように』って言われたもんだから覚えてる。」

在宅被災者戸別訪問

事務局員 吉川 潤

当機関では農林漁の活動に加えて、六月から在宅被災者の訪問を始めました。震災と津波の被害によって未だコミュニティが機能していない、伊勢、浜松、^{黄金浜}、渡波などを中心に新たな地図を作る計画です。また在宅被災者の心のケアのため寄り添い、孤立死を防いで、命をつなぎ、一人ひとりに本当に必要な支援の手の情報を記録し、地域の再生へとつないでいくために何か手伝えることはないかということ

も併せて伺うために一件ずつ訪問しています。

願わくば町の模型も作りたいと思っています。

お話を伺つたある女性の体験を紹介します。

Aさん(六十歳女性)

地震の時には近所の水産加工の工場に勤め

ていた。地震後すぐに解散の指示があつたので比較的すぐに自宅に戻つた。その後「津波が来

ん宅に身を寄せ、今年の二月から自宅に戻つている。始めはもう元の場所に住みたくないとも思つたが、歳も考えて住むことにしたらしい。

「まだ自宅の改修は終わっていないんです。お父さんとコンクリート流したり、納屋建てたり来なかつたりだから。おかげで真っ黒になつて」と笑顔を見せられる。

三月十一日から一年半以上が経とうとしている現状で、人々は壮絶な体験をしているにも関わらず、心のケアは手つかずの状態と言えます。気丈に生きている人を前に無力感を感じずにはいられません。しかし、私たちに吐露されることで抱えているものを軽くしたり、一歩踏み出すきっかけにしていただければと考えます。

神戸国際支縁機構

ボランティア募集中

毎月、被災地へ赴きます。農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。詳細はホームページ。

会員になってください

会員(年度3月~翌4月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

助成 神戸市パートナーシップ活動助成、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」を有効に用いています。

事務局長 本田 寿久

特定非営利活動法人

み も ざ

医療・保健介護・

福祉・教育に関する事業

共生社会の実現

不動産 売買・賃貸・管理・店舗は

本 田 商 会

〒662-0051 西宮市羽衣町5-23

電 話 : 0798-38-7560

F A X : 0798-38-7561

お気軽にご相談ください。



ヤマザキ

世界のパン
ヤマザキ

KINSAN

夢に近づく
夢を産み出す…

KS 近畿産業信用組合

総合コールセンター

0120-111-019

「縁」から「結」の集い

2012年9月17日渡波公民館 第12次、第17次に参加
神月 彩乃

道中におきましても、楽器コントラバスのことでお気を遣わせてしまったり、他の参加者の方に狭い思いをさせてしまったり、申し訳ありませんでした。いつか東北で弾きたいと思う気持ちはあっても、ゆかりのない土地で演奏の場を作ることはなかなか自力ではできません。

この度は岩村代表はじめ神戸国際支縁機構の皆様のご尽力のお陰で、私の夢をひとつ叶えて頂きました。

次回は仲間を連れて、より

豪華なアンサンブルをお楽しみ頂ければという二つ目の夢ができました。石巻市渡波の地域の皆さまの前で演奏するお膳立てして頂くばかりでしたら、喜んでいただいて、本当にありがとうございました。

もつともっと上質な演奏をご提供できるよう、より精進してまいります。

田んぼ作りのボランティアも、表現として正しいかどうかわかりませんが、とても充実感や満足感を感じることができます。四月に枯れ草ばかりだった土地に花が咲いているのを今回

見つけて、なんだか涙が出そうになりました。演奏会シーザンを抜けたら、また参加させて頂きたいと思っております。“私たちの”田、山、湾を、また皆さんと共に守りに行きたいです。



2012年11月20日(火)にも
集まろう

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口 2,000円/1年
賛助会員は、一口 5,000円/1年

・郵便振替

口座 00900-8-58077

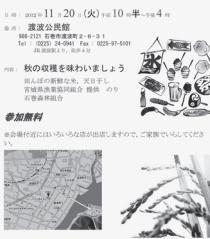
加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱東京UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

神戸国際支縁機構 岩村義雄

「田山湾の復活」渡波の秋祭り



日時：2012年11月20日(火)午後10時～午後4時

会場：渡波公民館

TEL: 022-2121-2016(渡波地区連絡事務)

FAX: 022-2121-4001

内容：秋の収穫を終わらし、田んぼの秋祭り

田んぼの秋祭りは、田んぼの秋祭り

田んぼの秋祭り

田んぼの秋祭り